



しあわせ信州

未来につづく

人と地域が育む

# 信州の 農業・農村と食

第4期長野県食と農業農村振興計画



## 人と地域が育む 未来につづく 信州の農業・農村と食の実現に向けて

農業は、人々の命の源となる食を生み出す産業です。本県は、生産量が全国トップクラスの園芸品目をはじめ、質の高い農畜産物を消費地に安定的に供給する総合供給産地として、その役割を果たし、全国で冠たる地位を築いてまいりました。

また、本県の農村は、農業生産活動の場であるとともに、豊かな自然環境や美しい景観、伝統的な食文化などを育み、生活に潤いと安らぎをもたらす場でもあります。

さらに、農業・農村は水源のかん養や、洪水の防止といった多面的機能を有し、その恩恵は地域住民にとどまることなく、私たちの社会を持続的、安定的に維持するために欠かせない社会的共通資本といえます。

現在、我が国では、気候変動とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、急激な少子化・人口減少とそれに伴う産業や地域の担い手不足など、地球環境や地域社会の持続可能性を危うくする様々な課題が顕在化しています。

こうした課題を克服し、新しい時代を切り拓いていくためには、今までの発想に捉われることなく、社会経済システムを大胆に変革していかなければなりません。

このような背景と認識のもとで、策定した長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」では、「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」を基本目標に掲げ、農業・農村振興の具体的な取組については、県民の皆様と検討を重ね、「第4期長野県食と農業農村振興計画」を策定しました。

本計画では、長野県の食と農業・農村の将来のめざす姿を明確にし、「人と地域が育む 未来につづく 信州の農業・農村と食」を基本目標に、農業が成長性のある産業として、子どもたちが憧れ、将来の職業として選ばれ、未来の担い手に確実に継承され、そして、地域住民だけでなく多様な立場の人々が参画することにより、コミュニティ活動が活発に行われる農村の暮らしの実現に向け、取り組んでまいります。

農業に関わる人々をはじめ県民の皆様一人ひとりが、私たちの生活に深く関わる農業・農村の重要性を認識するとともに、高い意欲を持って、その維持・発展に取り組む、みんながしあわせを感じられる豊かな長野県を創っていきましょう。

令和5年3月24日

長野県知事 阿部 奇一

# 目次

## 第1章 計画策定の基本的な考え方

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の性格と役割	1
3	計画の期間	1
4	計画の進行管理	1
5	県民の参画と協働による計画の推進	1
6	食と農業・農村を取り巻く社会情勢の変化	3

## 第2章 食と農業・農村のめざす姿と施策の展開方向

1	基本目標	5
2	めざす姿	5
3	施策体系	7
4	農業生産構造等の目標	8
	・農業・農村の展望	8
	・食と農業・農村の経済努力目標	8
	・2027年を目標とする農業生産構造等のイメージ	9
	・皆で支える農業・農村のイメージ	9
	・作物別農産物産出額の努力目標	10
	・農業関連産出額の努力目標	10
	・達成指標	11
5	重点的に取り組む事項	12
	(1) 信州農業・農村を担う人材の確保・育成と農地の活用	13
	(2) 日本一をめざす果樹（りんご、ぶどう、なし、もも）の産地力向上	15
	(3) 環境にやさしい農業など持続可能な農業の展開と消費者理解の促進	18
	(4) 信州農畜産物の輸出拡大	21
6	施策の展開方向	24

### 第1節 皆が憧れ、稼げる信州の農業（産業としての農業振興）

(1)	皆が憧れる経営体の育成と人材の確保	24
	ア 信州農業をけん引する中核的経営体の確保・育成	26
	イ 新規就農者の安定的な確保	28
	ウ 地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進	30
	エ 多様な人材の呼び込みによる支え手の確保	32
(2)	稼げる農業の展開と信州農畜産物の持続的な生産	34
	ア くだもの王国づくりの推進	36
	イ マーケットニーズに応える信州農畜産物の生産	39
	ウ 農村DX・スマート農業の推進による生産性の向上	50
	エ 有機農業などの環境にやさしい農業の面的拡大と安全安心な農産物の生産	52
	オ 持続可能な農業を推進するための技術の開発・普及	54
	カ 稼ぐ産地を支える基盤整備の推進	59
	キ 経営のステップアップモデル	61

(3) マーケットニーズに対応した県産農畜産物の販路開拓・拡大	68
ア 県オリジナル品種など県産食材の魅力・価値の発信	69
イ 稼ぐ力の強化につながる輸出の拡大	71
ウ 地域農畜産物の活用による持続可能な新たなビジネスの創出	73
エ 多様なニーズに対応した流通機能の強化	75
<b>第2節 しかあわせで豊かな暮らしを実現する信州の農村（暮らしの場としての農村振興）</b>	
(1) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり	76
ア 地域農業の将来像の明確化による適切な農地利用	77
イ 多様な人材の活躍による農村の振興	78
ウ 地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持活動	80
エ 農村型の地域運営組織の組織化推進による農村コミュニティの維持	81
(2) 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり	82
ア 災害から暮らしを守る農村の強靱化	83
イ 住みやすい農村を支える農村基盤整備	84
<b>第3節 魅力あふれる信州の食（生産と消費を結ぶ信州の食の展開）</b>	
(1) 食の地産地消をはじめとするエシカル消費の推進	86
ア 持続可能な暮らしを支える地産地消・地消地産の推進	87
イ 有機農産物など環境にやさしい農産物等の消費拡大	89
(2) 次代を担う世代への食の継承	91
ア 伝統野菜など地域ならではの食文化の継承	92
イ 農業者と関係機関の連携による食育・農育の推進	93

### 第3章 地域別の発展方向

1 佐久	96
2 上田	101
3 諏訪	106
4 上伊那	111
5 南信州	116
6 木曾	120
7 松本	124
8 北アルプス	129
9 長野	134
10 北信	139

### 第4章 関係資料

1 長野県食と農業農村振興の県民条例	145
2 長野県食と農業農村振興審議会における地区部会の設置規程	149
3 長野県食と農業農村振興審議会・地区部会の委員名簿と策定経過	150
4 用語解説	152